

麦の一発施肥法の確立



～1回の施肥で追肥作業を省略できる肥料で収量アップを実現～

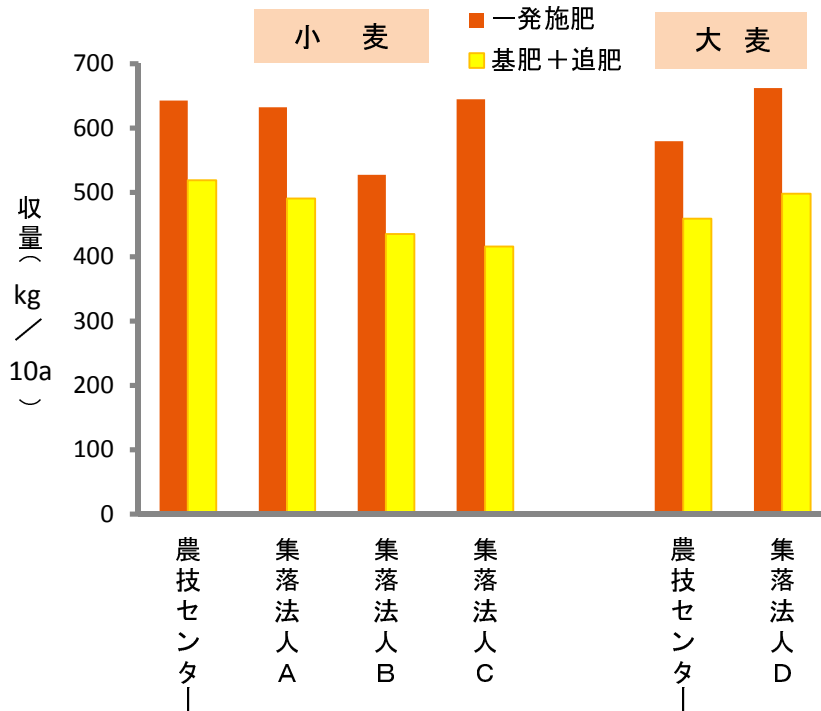
連携機関 | 愛媛県農林水産研究所, 山口県農林総合技術センター,
独立行政法人農研機構近畿中国四国農業研究センター他
研究期間 | 平成22～24年度[競争的資金研究注] 注) 農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業

技術支援のきっかけ

- ◆ 麦の栽培には、基肥を施用後、追肥作業が小麦で3回以上、大麦で2回以上必要です。
- ◆ しかし重い肥料が入った散布機を背負う作業はつらいため、改善が求められていました。

技術支援の成果

- ◆ 窒素がゆっくり溶け出す被覆尿素肥料LPコートS30を基肥に用いることで、追肥作業が不要となることを確認しました。
- ◆ 収量は、追肥する栽培方法に比べて、20%以上増加します。



技術支援の活用場面

- ◆ 窒素成分のみ含むLPコートS30はジェイカムアグリ株式会社から販売されています。
- ◆ リン酸とカリがブレンドしてある大麦用肥料「BB麦用一発582」は、広島県製肥株式会社から販売されており、小麦用の肥料も販売が検討されています。
- ◆ 現在、北広島町、世羅町、東広島市の小麦や大麦を栽培している集落法人等で導入が進んでいます。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522